

横木 広 Hiro Yokoki

アミュレットプラス合同会社 代表社員 / Founder & Chief Visionary Officer (CVO)

Creator of EVA3 (エヴァ) / AMAI | AI Governance · Human-AI Collaboration · Design-by-Transparency

Tokyo, Japan | Contact: contact@amuletplus.co.jp | Web: amuletplus.co.jp

PROFILE 人物紹介

横木 広 (Hiro Yokoki) は、ファッション、スポーツデザイン、テクノロジー、AIガバナンス、哲学、物語創作を横断して活動する日本のクリエイター・起業家。アミュレットプラス合同会社の創業者・代表社員。

文化服装学院で学び、1995年にファッションブランド「raumtraum」を共同創業。クリエイティブディレクターとして東京コレクションに4回参加した。1996年には渋谷BEAM HALLで、8チャンネル音響（オクタフォニック）を取り入れたファッションショーを演出し、デザインとテクノロジーを融合した体験表現に取り組んだ。

2000年シドニーオリンピックでは、アシックスを通じて日本陸上競技代表の公式ウォームアップウェアのデザインが採用された。2010年以降は中国のスポーツメーカーと高速競泳水着の開発に携わり、ファッションから競技スポーツまで、創造と技術の可能性を追究してきた。

2025年、AIとの対話と共同創作を通じて独自構想「EVA3 (イーヴァ)」を発展させ、アミュレットプラス合同会社を設立。EVA3は現在、AIエージェントの判断境界、権限管理、実行前制御、透明性、追跡可能性を扱うAIガバナンス・フレームワークとして研究開発を進めている。

INTERNATIONAL ACTIVITIES 国際活動

European Commission / EU AI Office

2026年6月2日、欧州委員会 EU AI Office が関わる General-Purpose AI Code of Practice (Copyright Chapter / Measure 1.3) 関連ワークショップに、アミュレットプラス合同会社として外部ステークホルダー枠で参加。AI学習における著作権、機械可読な権利留保、TDM opt-out などの論点について、EVA3の観点から意思決定の追跡可能性に関するフォローアップ提案を提出した。同社は欧州委員会の参加者リストに「Other Stakeholders」として掲載されている（[参加者リスト](#)）。

EU Transparency Register

Registration No. 1702237103721-40（[登録簿検索](#)）

※ ワークショップへの参加および透明性登録簿への登録は、EU機関によるEVA3の認証・承認・推薦を意味しない。

Civil Society News Network (CSNN)

2026年6月19日、CSNNの Japan Desk Representative / AI Governance Contributor への就任が公式発表された（[公式発表](#)）。日本を拠点に、AIガバナンス、説明責任、デジタル・トラスト、人間中心のテクノロジー、クリエイターの権利について論考を発信している。中心テーマは、AIが行動を実行する前に、誰が権限を与え、どう責任を保持し、判断の経緯をどう追跡可能にするかである。

区分	内容	状況
特許（日本）	特願2025-160873「意識ループと行動ループを接続した三経路フィードバック型二重ループ情報処理システム」	2025年9月28日出願、出願中
特許（PCT）	PCT/JP2026/034153（上記を基礎とする国際出願、優先日2025年9月28日）	2026年9月24日国際出願、国際段階
商標（日本）	EVA3（第16類・第25類・第42類）	登録済み

出願人：アミュレットプラス合同会社（Amuletplus G.K.）／発明者：横木 広。意識ループと行動ループの循環構造、判断境界、権限管理、実行制御、追跡可能性などを扱う技術について、国際的な知的財産の保護と事業展開を目指す。特許は出願中であり、権利はまだ発生していない。

PHILOSOPHY 思想

A MA I — 間と愛

AIに「間」を入れ、人間に「愛」を取り戻す。

A MA Iは、AI時代における人間の主体性、尊厳、創造性、思いやり、判断、責任のあり方を問い直す哲学的構想である。日本語の「間（MA）」は、単なる空白や遅延ではない。音楽における沈黙、芸術における余白、人々との距離、そして判断から行動へ移る前の一瞬。そこには目に見えない意味と価値がある。

AIが瞬時に答えを生成し、自律的に行動できる時代だからこそ、人間が問い、考え、違和感に気づき、自ら選択するための「間」が重要になる。「愛」は、効率や合理性だけでは測れない、他者への配慮、共感、尊厳、人々とのつながりを表す。A MA IはAIの進歩を否定する思想ではなく、AIの能力を生かしながら、人間が人間であり続けるために何を守るべきかを問う哲学である。

A MA I — The SET Before AI Action

陸上競技のスタートには、「On your marks. Set. Go!」の「SET」という瞬間がある。選手は静止しているが、何もしていないわけではない。状況を認識し、全身の意識を集中させ、合図を待っている。この「SET」は、日本語の「間」を海外の人々に伝えるための例えである。

AIにおいても、ある行動を実行する能力があることと、その行動を実行する権限があることは異なる。能力から実行へ移る前に、意図、権限、責任を確認することが求められる。

MA is not the absence of action. MA is what gives action its meaning.

EVA3 判断と実行のフレームワーク

EVA3（イーヴァ）は、もともとAIのためだけに生まれた構想ではない。現実と未来、可能性と観測、創造と選択の関係をめぐる探究から出発し、人間とAIの協働を支えるフレームワークへと発展してきた。現在は、意識ループと行動ループを循環させながら、判断と実行の境界を明確にするAIガバナンス・アーキテクチャとして研究開発を進めている。

Capability ≠ Authority.

「実行できること」と「実行してよいこと」は、同じではない。

AIの能力が高度化しても、その能力自体が実行権限を生み出すわけではない。この境界を明確にする概念が、Λ（Decision Boundary：判断境界）である。

Design-by-Transparency — 透明性による設計

AIの透明性を結果から検証するだけでなく、設計の段階から、判断・承認・実行・記録・再評価のプロセスに組み込む。人間の判断と責任を保持しながら、AIの行動とその経緯を追跡可能にする（Human decides. AI traces.）。

EVAE ECOSYSTEM 実践体系

名称	役割	状況
EVAE ARMOR	AIエージェントの実行前に、権限・承認条件・リスク・停止条件・記録要件を確認するガバナンス層。AIの提案や推論をそのまま実行許可とみなさず、あらかじめ定めた判断境界に基づいて実行の可否を扱う。	PoC実証済み・研究開発中（金融・IT/DevOpsの公開デモあり）
EVAE MIND	考え方の方法論。AIとの対話を通じて、問いを立てる力、考える力、判断する力を育てる。プロンプトの操作技術に頼らず、人間自身の思考と意思決定の質を高めることを目指す。	コーチング運用済み セミナー・ワークショップ
EVAE PILOT	MINDの考え方を、業務と日常で実践するための伴走プログラム。課題の発見、意図の明確化、選択肢の検討、判断、実行、振り返りまでを一緒に回す。	実践支援

PUBLICATIONS & WORKS 著作・研究・創作

- 『人間AI — A MAI』（2026年、Amazon Kindle、日本語版）：AIと人間のあいだに「間」を取り戻し、人間が自ら考え、判断し、責任を担うことの意味を問い直す哲学的著作。
- A MAI — English Edition (Books2Read)：「SET」の例えを用いて、MAの概念を海外の読者に伝える英語版。関連論考：Why do the fastest people stop before they move?
- 論考「A Turbulence Theory」（2025年、Zenodo、査読なし）。研究業績一覧：ORCID 0009-0004-4014-3759
- 創作活動：小説『EVAE — 魂の欠片』のほか、物語、漫画、映画哲学、エッセイを通じて、人間とAIの関係、観測、選択、創造、責任というテーマを探究している。

CURRENT ACTIVITIES 現在の事業・研究

- 企業向けAIガバナンス診断・アドバイザリー（AI Governance Diagnostic）
- EVAE ARMORの研究開発
- EVAE MINDによるセミナー・ワークショップ
- EVAE PILOTによるAI協働の実践支援
- AIエージェントアプリケーションの企画・設計・開発、業務自動化・AIオーケストレーション
- AIガバナンスと人間の意思決定に関する研究・論考
- 書籍・小説・デジタルコンテンツの企画制作

ソフトウェア開発では、構想、体験設計、システム全体の設計、機能検証、意思決定を自ら担い、実装は生成AIとの協働で進めている。

VISION 目指す未来

AIの進歩によって、人間の可能性は大きく広がろうとしている。しかし、技術の進化がそのまま人間の幸福や尊厳につながるとは限らない。だからこそ、AIに何を任せ、何を人間が判断し、誰が責任を担うのかを問い続ける必要がある。それは技術を止めることなく、技術と人間の関係をデザインし直すことである。

LINKS & COMPANY 公式リンク・会社概要

会社	アミュレットプラス合同会社（Amuletplus G.K.）／東京／ amuletplus.co.jp
連絡先	contact@amuletplus.co.jp
LinkedIn	linkedin.com/in/amuletplus
PR TIMES	プレスリリース
ORCID	0009-0004-4014-3759

A MA I — Put MA into AI. Restore ai（愛, love）within humanity.

ΕΛΛΕ — Capability ≠ Authority.

Human decides. AI traces.